フィリピン・サンロケダムの問題の解決を！

賛同のお願い

集約日：５月１７日

私たちの**郵便貯金や年金、約700億円を使って建設**されたアジア最大級のダム「サンロケダム」。

しかし、ダムの建設工事が始まってから６年間、**地元の住民や先住民族からは「ダム」に疑問を投げかける声**があげられてきました。農地を失い、川沿いでの砂金採りができなくなった彼らの生活は、再建のめどもたっていません。彼らは今、**生活の糧を求めて**います。

この事業への融資を 1998 年から続ける**特殊法人「国際協力銀行」**は「**住民参加による問題解決のための枠組みが整っている」ことを前提に融資の決定**を行ないましたが、サンロケダムの建設が終わった今も、生活に窮している人々がいるのはなぜでしょうか。

今回は、**地元での問題の解決を図るまで残りの融資10%の拠出を停止**すること、また、今後、**他の事業で二度と同じようなことを繰り返さないため**にも、**融資の決定前の審査を改善**することを国際協力銀行に求めます。

一人でも多くの皆さんにこの要望書へご賛同いただき、日本政府・国際協力銀行へ要望書を提出したいと考えています。**皆さんのご協力をよろしくお願いします！**

▼要望書にご賛同いただける個人・団体の方は――

⇒下の署名用紙にご記入の上、**５月１７日までに**
右記まで FAX またはご郵送ください。

送付先　：国際環境 NGO FoE Japan
FAX　：03-3951-1084
郵送　：〒171－0031
東京都豊島区目白 3－17－24
E-mail：hatae@foejapan.org

「フィリピンのサンロケ多目的ダム事業に関する要望書」に賛同します。

※サンロケ多目的ダム事業の概要・要望書の内容についてはウラ面をご覧ください。

ご氏名（団体名）	ご所属先 or お住まい（個人の方）